



県大会および西関東大会で金賞を受賞された
明和中吹奏楽部の皆さん

練習に励む生徒たち



西関東大会で金賞受賞に輝く

明和中吹奏楽部

第46回群馬県吹奏楽コンクールが、このほど群馬音楽センターで開かれ、中学校B部門（35人以内編成）に出場した明和中学校吹奏楽部が6年連続の金賞を受賞しました。

また、同校は中学校B部門で3年連続の県代表に選ばれ、9月4日に山梨県民文化ホールで開かれた第10回西関東吹奏楽コンクールに出場し、初の金賞受賞に輝きました。県大会には、県内の中学校B部門で104団体が参加。また、西関東大会には、各県の代表30団体が出場し練習の成果を披露しました。

両大会とも同部からは顧問の小野さおり教諭と15人の生徒が出場しました。演奏曲は、「24の小品」より、「甘い夢・イタリアの歌・ポルカ・ワルツ」の4曲。同部は、小野教諭の指導のもと、地域の皆さんの協力を得て熱心に練習を積み重ねてきました。1年から3年生までの部員一人ひとりの頑張りやチームワークのよさ、そして少人数ならではの透明感のある演奏、豊かな表現力などが評価されたものです。

小野教諭は、「地区予選を勝ち抜

いてきた学校が出場したので、この演奏もすばらしく、演奏前までは生徒も緊張していましたが、ステージの上では伸び伸びと楽しく演奏できました」と話していました。

金賞受賞を

齋藤町長に報告

西関東吹奏楽コンクールに出場し、栄えある金賞を受賞された明和中学校の吹奏楽部員、鏑田校長ら18人が9月6日に役場を訪れ、齋藤町長に受賞報告を行いました。部長の杉山水紀さんは「初めて金賞が受賞できてうれしいです。OBのかたや地域のかた、保護者のかた、先生に感謝し、10月24日の定期演奏会に向けて、これからも努力を積んでいきたいです」と話していました。



齋藤町長に受賞を報告する生徒たち